

Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 445

2025 年 10 月 1 日発行／みやぎ憲法九条の会

仙台市青葉区柏木 1 丁目 2-45 フォレスト仙台 5F

TEL : 022-728-8812 FAX : 022-276-5160

<http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

mail:info@9jou.jp

憲法 9 条を守り生かす 宮城のつどい 2025

「被爆 100 年までに核廃絶を！～被爆 80 年の今年を出発点に」

日時：2025 年 11 月 2 日（日）12：00（開場）

13：00 開演 15:30 終了予定

会場：東京エレクトロンホール宮城 大ホール（宮城県民会館）

第一部

- ① 宮城のうたごえのコーラス「平和を歌う」
- ② 木村緋沙子さん挨拶「ノーベル平和賞への歩み」
- ③ 平和七夕 50 周年「高校生の皆さんからスピーチ」

第二部 講演

演題：「被爆 100 年までに核廃絶を！

～被爆 80 年の今年を出発点に」

講師：秋葉 忠利さん（前広島市長）

主催：みやぎ憲法九条の会

協賛：宮城県内九条の会連絡会

連絡先：022-728-8812 FAX：022-276-5160

* どなたでもお誘いあわせてご参加ください。



「大軍拡反対請願全国署名 9/29 現在」

宮城県内九条の会連絡会：236 筆 他団体：965 筆

県民運動推進連絡会みやぎ集約：1201 筆

* 4 月 1 日より全国市民アクションの署名用紙が

「税金はくらしの充実に 戦争準備の大軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を求める請願署名(略称大軍拡反対請願署名)」に変わったので新たにでカウントしています。

* 「署名ハガキ付チラシ」を宮城県内九条の会連絡会に参加されている地域九条の会には必要枚数をお送りしますので、みやぎ憲法九条の会事務局までお申し込みください。

* 署名は県名よりしっかり書きましょう。「同上」「〃」は不可です。国会提出時チェックするために大変な苦勞となっています。よろしくお願いいたします。



宮城県内九条の会連絡会の火曜日街頭宣伝

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。 時間：12 時から 13 時まで。

実施日：10 月 7 日、14 日、28 日

10月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制を強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている取り組みです。

- 仙台市：10月17日(金) 12:00～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。
- 石巻市：10月19日(日) 15:00～16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：10月19日(日) 13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点
- 小牛田：10月19日(日) 13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：10月19日(日) 11:00～11:30 場所：クボ店前
- 名取市：10月19日(日) 13:00～13:30 場所：名取駅西口前
- 岩沼市：10月19日(日) 16:00～17:00 場所：岩沼駅 東・西口
- 仙南九条の会：10月19日(日) 11:00～11:30

場所：村田町商店街のセブンイレブン前（小雨決行）

10月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・午後1時キックリに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- ・名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近
- ・涌谷町：涌谷公民館前交差点
- ・宮城野原九条の会：坂下交差点
- ・小牛田：国道108号山の神神社前交差点

地域の九条の会の定例行動(スタンディング)

- ・宮城野原九条の会 23日行動：10月23日(木) 13:00～13:30 坂下交差点
- ・加茂九条の会：場所は泉区、北環状線と仙台・大衡線の交差点、ショッピングセンター「ブランチ仙台」前、のぼり旗が目印。
毎週月・水・金曜日の7:30～8:15の週3回“ウクライナに平和を・ガザに平和を”訴えてスタンディング
毎週(水)13:30～14:00 “大軍拡・大増税NO!”でスタンディング

【最近の活動について】

宮城県内九条の会連絡会総会

渡辺 治さんの記念講演会を開催 「参議院選挙の結果と日本政治の展望」 ～憲法、平和、くらしをめぐる～

9月20日に宮城県内九条の会連絡会総会が開催され、記念講演が一橋大学名誉教授の渡辺治氏を迎えて行われました。参加者は140人におよび、満席の状況で参議院選挙後の関心も高く、これからの運動の広がりが期待される内容でした。

2025年の参議院選挙は、衆議院選挙に続く1年間で二度目の国政選挙だった。選挙戦の背景には、軍拡路線の継続、社会保障の崩壊、物価高による生活苦といった大きな課題があった。さらに、与党は軍拡・改憲路線を進めており、総裁交代があっても方向性は変わらなかった。

参議院選挙では1人区17で野党一本化でき12勝し、強力さを示したが対応が遅すぎ政権への対抗力が弱かった。しかし、市民の暮らしへの関心と現政治への不安感などが選挙

結果に影響を与えた。そして、物価高が続き、暮らしの問題や医療・介護体制が崩壊の危機に直面するなど新手の新自由主義的政策の継続による格差拡大を促進している。これらの課題解決に、与党は、経済成長の基に企業の大儲けと防衛費増大を正当化したが、国民の間には疑問と懸念が広がった。

世界的には、大国間の対立がふかまり、米中・米露関係の緊張、ウクライナ戦争、ガザ紛争など、「戦争を終わらせる」と掲げた米トランプ政権も現実には戦火を収められず「平



和の模索」より「軍拡の連鎖」といった矛盾を拡大している。

私たちは、これまでも度々改憲の逆風を阻止し、戦争する国づくりを遅らせた。この運動の一角を担ったのが「9条の会」運動であった。

日本の今後の展望は、軍拡一辺倒ではなく、平和外交と生活保障を優先する政治が必要であり、9条の会や市民運動の役割はますます大きい。日本国憲法の役割と憲法9条を守り「平和と暮らしを支える政治」を掲げて、社会に働きかけていくことが求められる。

「平和と暮らしを守る市民の声」を参議院選挙で得た教訓も踏まえ、多様な形態と手段でどう広げていけるかにかかっています。

[参加者から]

9条の会の役割がますます大事な時

伊藤美智子

昨年も渡辺さんのお話を聞きました。岸田退陣の表明の後でしたが、今年は石破退陣表明の後でした。連日、石破首相の後任は誰かをテレビは追いかけている始末で、参議院選挙で国民が消費税などを下げてほしいと願ったこと、また、審議することなどそっちのけでマスコミも酷すぎです。

渡辺先生のお話は大変分りやすかったです。各政党の違いも資料を示されて、よく分析されていて理論立ててお話されて分かりやすく、私たちに行動する力を与えてくれました。9条の会の役割がますます大事な時です。

改憲勢力の勢いが増して、自民党総裁選の候補者たちの発言を聞くにつけ、憲法9条を守る集会をリアルで開催しなければと強く思います。すべてのメディアに案内し、記者にも来てもらい、参加者の声を伝え、成長してもらう努力を惜しまないこと、署名も集めて改憲を止める、市民と立憲野党が一緒にやっていく、団結して共闘を力強くすることが戦争させない国にし、平和を築く道だと思えます。早急に「暮らしを守り、大軍拡反対」の闘いの秋にしていきたいと思います。

国見九条の会の活動報告

「ひとりぼっちの難民小学生」の戦争体験談

2025 年 9 月 20 日連絡会総会での発言より 白砂英男

5 月 10 日に国見九条の会つどいを行い、「ひとりぼっちの難民小学生」の演題で満洲から帰られた鈴木諄さん（92 歳）の戦争体験談を聞き 82 名もの参加があり大変良い講演会となりました。鈴木さんは小学 6 年生で満洲と朝鮮国境の町に旅行に行ったら日本が敗戦となり自宅のある新京まで 500 キロを一人で 1 年かかって放浪して帰った。途中厳寒の冬を越え、食



鈴木諄さん（92 歳）

べ物を盗み、失敗からも学んで前向きに生き抜いた。しかし家に帰ったら国共内戦に巻き込まれ九死に一生を得て戦後 2 年たって日本に帰った。憲法 9 条は二度と戦争しない決意の表れだと話されました。感想として、92 歳ならよぼよぼの爺さんが来て話すのかと思ったら若かった。これまで様々な戦争体験を聞いたが今回は最高だった。国見九条の会つどいをこれからも応援します（文化学園大 2 年生）。9 条のありがたさが改めてわかった。もう一度聞きたいなどの声が寄せられ 11 月 22 日に鈴木諄さんとの懇談会を行うと決めました。



南小泉・蒲町校区 9 条の会 10 周年記念音楽祭

愛と平和を願うコンサート 開く！

9 月 15 日（月）若林区文化センター展示ホール 71 人が参加

9 月 15 日、宮城県内 9 条の会連絡会 相原研一委員長から 10 周年のお祝いの言葉をいただいて開会しました。

すてきで楽しいコンサートになりました。

第1部は野崎廉さんのドブロギターの演奏。琴のように、楽器を横にして右手の爪で弦をはじき左手の金属棒で押さえて演奏する、とても珍しいギターで、琴のようなハープのような、独特の音色です。

第2部は大川奈美恵さんの朗読と宍戸素子さんのピアノ・野崎さんのドブロギターの演奏。前半は坂本龍一さんの曲を背景に井上ひさしの『子どもに伝える日本国憲法』などを朗読。後半はピアノとドブロギターの演奏とやなせたかしの詩の朗読を聴きました。

用意したプログラムが足りなくなるほどたくさんの方が来てくださり、予定時間を超える熱演、最後は「手のひらを太陽に」をみんなで歌って楽しいコンサートはお開きとなりました。



【各地でニュースが発行されている】

みやぎ県内の九条の会ではニュースを発行して賛同の会員へ配り、繋がりを持っているところがあります。全部ではないですが表紙のコピーで紹介します。

入手を希望する方は、メールのみですが事務局（info@9jou.jp）へお願いします。

くらしと民主主義、史跡・緑を守る
多賀城懇話会ニュース

No.172 (9月号)
発行日 2025年9月10日
事務局 鈴木 利次
☎090・5350・9554
✉ ms6977ts@gmail.com

第12回多賀城懇話会総会を開催

第一部では五十嵐仁氏 [全国革新懇 代表世話人 法政大学 名誉教授] が記念講演

9月6日第12回多賀城懇話会総会(記念講演&総会)を開催しました。40名が参加しました。
第一部では五十嵐仁氏(法政大学名誉教授・全国革新懇代表世話人)が記念講演を行いました。
「参院選後の政治動向と革新懇の課題」のテーマでお話しました。
五十嵐氏は、冒頭、多賀城市にきたかったこと(多賀城の史跡に触れること)、革新懇の歴史を刻む多賀城懇話会の多彩な活動について全国的に注目している、と話されました。

政治動向と革新懇の課題
五十嵐 仁 氏
全国革新懇代表世話人
法政大学太原社会科学研究科 名誉教授

日本の政治について

国見九条の会ニュース 第53号

2025年9月29日 連絡先 ☎022-275-7493 (白砂) 〒981-0943 青葉区国見 6-15-3

新会員歓迎会が行われました

去る9月13日国見コミュニティセンターにて新会員2人を含め6名で歓迎会が行われ参加者が熱心に討論し親しく交流しました。

会が出来た。私は仙台市上杉に住んでいたが、そこにも出来た。国見に移ってここには九条の会がないから作ろうと2006年に何人かの心ある方たちに呼びかけて「九条の会アピール賛同署名」を集め、それに署名して下さった方で会を作ろうとしたが、すぐには上手く行かず、7年かかって2013年3月15日に発足することが出来た。今は原発をなくしたいと強く思っている。

伊藤さんは東北大学理学部で小笠原卓さんとは9年後輩の関係(伊藤さんは理学部の生物学科、小笠原卓さんは化学科の違いがあります)、竹内峯先生のオリエンテーションを聞いた覚えがある。大学院時代に動物の細胞内の物質が系統発生の順に進化することを研究していた。その後高校教師として県内各地の高校に赴任した。国見九条の会は東北大学OB会のような。コミュニティセンターで

平和と食・農

憲法9条を守れ！食料自給率向上を！

大軍拡・大増税反対！ 会報9号

【発行】みやぎ農協人九条の会

〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45

フォレスト仙台ビル内

電話 022-728-8812

アドレス info@9jou.jp

(発行責任者/事務局長 田口 裕)

発行日 2025年9月

(目次)

■平和の危機は農業の危機	鷲尾 衛・1
■(寄稿)1974年 拙者15歳中学3年の夏 弁論大会の原稿より	後藤 利雄・3
■「昨今の平和・食・農・協同組合」に関する所感	安斎 明修・4
■参院選を終えて～雑感	大和田道子・5
■令和のコメ騒動に思う	尾本 満雄・6
■(再掲)「みやぎ農協人九条の会結成趣意書」	・7
■2025年度 みやぎ農協人九条の会 世話人体制	・8

平和の危機は農業の危機

みやぎ農協人九条の会会長 鷲尾 衛

(元JAみやぎ仙南常務理事/JA全農みやぎOB)

戦後80年とあって、マスコミ等による戦前戦中の記事をあらためて目にする機会が多いこの頃です。世の中の今日の状況を思うと、戦争への深い反省どころか、イスラエルのガザ侵攻やロシアによるウクライナ侵攻等々、紛争対立が激化し不安定な世界になっています。近い将来にまた世界大戦にからなければ...と心配がつのります。

みやぎ農協人九条の会結成15周年記念

学習講演会

「令和の米騒動」とこれからの食料・農業政策(仮題)

講師：東北大学大学院教授

冬木 勝仁 氏



■日時：2025年12月20日(土)午後1時30分～3時30分

■場所：フォレスト仙台ビル 2階 第5・6会議室

主催：みやぎ農協人九条の会 (連絡先 022-728-8812)

【県内で行われる活動のお知らせ】

安保法制 安保三文書により

脅かされる平和国家日本

2022年12月、国会で審議することなく閣議のみで決定された「安保三文書」（「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力備計画」）による大軍拡は東アジアでの軍拡競争を招き、「台湾有事」などアメリカの戦争に加担する事態を誘発しかねません。「台湾有事」になれば、沖縄等南西諸島のみならず、日本全国の自衛隊基地、米軍基地、そして空港・港湾（仙台空港・仙台塩釜港も含まれます。）が出撃拠点ともなり、日本全土が戦場になり、甚大な被害を受けるリスクを高めてしまいます。アメリカ優先・米軍優先の、主権なき大軍拡を進める「安全保障」政策に反対しなければ「再び戦争の惨禍」を招くことになる、その分岐点に私達は立たされていると吉田氏は訴えています。分は点に立たされていることを理解し、私達に何ができるか、ご一緒に考えましょう。

第1部

<講演> 大軍拡・米日軍事一体化・戦争準備に反対を

講師 吉田 敏浩氏

第2部

<質疑麻答>

① 冒頭に仙台弁護士会会長声明や憲法委員会の活動紹介を行います。

②講演に対する質問等を行って講師に回答していただきます。

* 予約不要

2025 年 10 月 4 日（土） 14:00-16:00

仙台弁護士会館 4 階大会議室

Zoom によるオンライン併用

オンライン参加の方は下記 URL からご参加ください。

URL は仙台弁護士会のホームページでもご案内します。

URL <https://us06web.zoom.us/j/84751907198>

なるべく開演時刻までに、上記 URL からご視聴を開始ください。

第 62 回憲法連続市民講座（日弁連第 67 回人権擁護大会プレシンポジウム・憲法改正問題に取り組む全国アクションプログラム）

主催：仙台弁護士会 共催：日本弁護士連合会・東北弁護士会連合会（予定）

お問い合わせ／仙台弁護士会 Tel. 022-223-1001

仙台市青葉区一番町 2 丁目 9 番 18 号

民主主義運動のルーツを訪ねる旅

～小作争議・前谷地事件～

日時：10 月 5 日（日）8:30～17:00

参加費：3000 円

主催：日本国民救援会宮城県本部

TEL 022-222-6458

FAX 022-222-6450（熊谷郁夫）

戦争を語り継ぐ上映会（10月）例会

「テニアン 玉砕と原爆の島」

～ サイパン島から約8kmの小さな島、今も遺骨の発掘が続く ～

テニアンは、原爆を搭載したB29が広島・長崎に向かった島。一方、戦前は1万5千の日本人移民が暮らし、サトウキビ栽培で豊かな生活を送った「楽園」でもあった。太平洋戦争が始まり、米軍は日本本土爆撃の拠点とするためテニアン島を攻撃。多くの民間人が犠牲となった「玉砕の島」でもある。戦後80年の今年、原爆投下部隊が発進した滑走路が、訓練場として再整備され、再び基地化されている現状を伝える。（2025年放送）

■同時上映：「“終戦”知られざる7日間 ～戦闘が停止するまでの緊迫の日々～」

8月15日の玉音放送で終結したと思われてきた太平洋戦争。しかしその後も各地の部隊が特攻作戦を続け、米軍上陸に備えてゲリラ戦の準備も行われるなど、本土決戦への意欲を高めていた。一方、日本進駐を進めようとしていた米軍は、日本の部隊が戦闘をやめない事態を想定。武力で日本上陸を行うことを計画していた。再び戦闘が起きれば本土が戦場となり、私たちが知る戦後と違う道を歩む可能性もあったのだ。当時、政府・軍中央の統制は弱まり、空白期間とも言える状況に陥っていた。（2015年放送）

①日時：10月17日（金）13：00～15：00

会場：県労連3階・国民救援会事務所

②日時：10月28日（火）10：00～12：00

会場：泉区加茂市民センター会議室

主催：戦争を語り継ぐ会（連絡先：野原022-378-0872）

日米地位協定から安保3文書へ 琉球弧から日本の平和を考える
～東京・福島・宮城・山形連続講演会～

琉球弧・宮古島の軍事要塞化と戦争準備

政府は、沖縄南西諸島（琉球弧）で自衛隊基地配備をし、対中国戦を想定した高性能なレーダー、移動式ミサイル、大型弾薬庫の設置など、小さな島々が標的にされるリスクを高めています。住民の避難計画は住民全員の避難が想定されておらず、国民の命と暮らしを軽視した計画です。今や沖縄だけでなく、日本全国に点在する自衛隊基地でも軍備が強化され、米軍との一体化が進んでいます。

今回の集会は、宮古島を拠点に刻々と進む事象に対し管鐘を鳴らし続ける清水早子さん。直接現状を伺える貴重な機会です。沖縄の現状から日本の“いま”が理解できます。

日時：10月18日（土）14:00～16:30

会場：仙台弁護士会館4Fホール（仙台市青葉区一番町2-9-18）

講師：清水早子さん（ミサイル基地いらない 宮古島住民連絡会共同代表）

参加費：500円（カンパ歓迎） 学生無料

主催：琉球弧の軍事化に抗する市民の会・みやぎ

問い合わせ先：ryukyumiya925@gmail.com

戦争を語り継ぐ上映会

「働き盛りの過労死と循環器疾患」

日時：10月18日（土）14:00～

会場：県労連会館 Webあり

講師：宮沼 弘明氏

参加費：1000円（会員）

主催：宮城県働く人の健康と環境改善をすすめる会

TEL 022-222-7997

FAX 022-225-8495

（仙台錦町診療所・産業医学センター：広瀬俊雄・小原昇）

加茂市民センターまつり参加

「知る沖縄戦展」 ～写真と証言から学ぶ～

戦後 80 年、その間日本は戦争をせずに平和が保たれてきました。一方、いまテレビでは、ウクライナ、パレスチナ、ミャンマーなど、世界各地での戦争が報道されています。それは 80 年前の沖縄の姿そのものです。

日本で唯一の地上戦が行われた沖縄。戦死者 20 万 656 人。県民だけを計算すると、当時の人口の 3 人に 1 人が死亡した戦争の姿を知るための展示会です。

展示資料は、沖縄から写真・証言・新聞を取り寄せた“手作りのパネル展示”です。

◆日時：10 月 19 日（日）10：00～15：00

◆会場：泉区加茂市民センター体育館・加茂市民センターまつり会場

◆展示協力：沖縄平和祈念資料館、ひめゆり平和祈念資料館、沖縄市、沖縄タイムス 他

戦争を語り継ぐ上映会

ドキュメンタリー「沖縄戦」上映会

日本で唯一の地上戦が行われた沖縄。その凄惨な戦闘をほとんどの日本人が知ることなく、80 年の年月が経とうとしている。本土への疎開のために多くの子どもたちが乗った対馬丸がアメリカの潜水艦によって撃沈され 1482 人が死亡。嘉数高地の戦いでは多くの日本兵、そしてアメリカ兵が戦死。陸軍司令部のあった首里城の攻防。さらには渡嘉敷島で起こった集団強制死。そして摩文仁の丘での牛島司令官の自決。だが、戦闘はそこで終わっていない…。

戦死者 20 万 656 人。県民だけを計算すると、当時の人口の 3 人に 1 人が死亡したことになる。そんな戦闘はどのようにして始まったのか？ 住民が見つめたものとは何だったのか？ その歴史の記憶を克明に描く。監督：太田隆文、2019 年製作、ナレーション：宝田明、斉藤とも子。

◆日時：10 月 25（土）13:30～15:15、入場無料

◆会場：泉区加茂市民センター・2 階研修室

◆主催：戦争を語り継ぐ会 連絡先：378-0872 野原

「安重根と千葉十七・顕彰碑」の碑前祭

日時：10月26日（日）13:00～

会場：栗原市若柳大林町裏219 大林寺

主催：「安重根と千葉十七・顕彰碑」碑前祭実行委員会

TEL 022-222-6458 FAX 022-222-6450 （横田有史）

第4回 「憲法塾」

「2024年度学生実態調査から『見えるもの』」

みやぎ憲法九条の会

若い人たちは社会的にも様々な抑圧を受けている状況は、大学授業料をはじめ奨学金の返済問題などは経済的脆弱性にもなっています。そして、アルバイトへと学業の両立負担へととなり、ひいては家計支援の乏しい問題も見えてきています。

こうしたことが、学業と生活との関連がどのような状況にあるのかを知ることが必要であると考えており、今回、大学生協が行っている学生生活実態調査（2024年10-11月実施）から見えてくる様々な状況も絡めてお聞きし意見交換したいと思います。また、九条の会や多くの市民団体で活動される方々の高年齢化が進み、若者の参加をと言われる中で、学生のリアルな意識や実像を知るまたとない機会かと思えます。ぜひ、多くの方のご参加をお願いします。

日時：2025年10月30日（木）、15:30～16:50

会場：フォレスト仙台 501号室

講師：柏倉欣也さん（大学生協連東北地区ブロック事務局長）

講演テーマ 2024年度学生実態調査から『見えるもの』

＜講演のポイント＞

- ・今の学生の感心事
- ・学生の3つの貧困について
- ・社会的運動（平和や政治等）への関心や問題点
- ・先輩方（大人世代）へ望むもの

第2回「千葉卓三郎と五日市憲法草案」を学ぶ集い

なぜ今、千葉卓三郎を推すのか？

～ゆかりの地、五日市・志波姫・仙台から～

現在の東京都あきる野市五日市で、明治憲法の発布より8年前、1881年地元の人々の議論の中から「五日市憲法草案」が生まれました。起草者は現在の宮城県栗原市志波姫出身の旧仙台藩士千葉卓三郎（1852～83年）。国民の権利を保障する条文の多さは、現在の日本国憲法に通じます。なぜ？どのように？

近代黎明期の民衆が描いた国家像が訴えかけるものとは何か。千葉卓三郎の思想と「五日市憲法草案」の意義を広めることに取り組んでいる東京都羽村市・栗原市・仙台市の3市民グループが一堂に会し、それぞれの取り組みから学びます。

〔第1部〕資福寺にある「千葉卓三郎記念碑」の見学説明会

日時 11月8日（土）11:00～11:40

場所 資福寺（仙台市青葉区北山1-13-1） ※現地集合・現地解散です。

集合場所：山門を入り左側の絵地図前。

※参加費はありません。

〔第2部〕なぜ今、千葉卓三郎を推すのか？

●講演：羽村幸子さん（タクロン・チーバー普及協会代表）

●ミニシンポジウム ゆかりの地3ヶ所に誕生した市民グループが登壇！

日時： 11月8日（土）14:00～16:30（開場 13:30）

会場：東京エレクトロンホール宮城 601会議室（県民会館：仙台市青葉区国分町 3-3-7）

参加費：（資料代）一般 500 円 学生 300 円

※事前申込みが必要です。

●事務局（板垣）に直接申込み

e-mail: itagakikimio58@gmail.com

Tel. : 070-2030-8706

主催 千葉卓三郎から学ぶ会

仙台地区教職員 9 条の会 講演会

「崩壊する日本の公教育」 ～私たちはどこに希望を見出すのか～

しんぶん赤旗に連載された「資本主義の現在と未来」が大きな反響をよんだ鈴木大裕さん。安倍政権により強行された改悪教育基本法で、日本の教育はどんどん子どもたちと教員を追い詰めています。今、公教育の基本に立ち返るときです。日本の教育の在り方を、大裕さんから学びましょう！

日時：11 月 16 日（日）13 時～

会場：塩竈市公民館 中会議室 無料駐車場 108 台分あり

参加費：500 円 *著書や会のグッズ販売もあります

【主催】仙台地区教職員 9 条の会

【共催】塩釜の学校統廃合を考える会 宮教組中央支部 塩釜地方労連

【問合せ】川名（090-8613-2364）

＜鈴木大裕さんプロフィール＞ 教育研究者・高知県土佐町議員

16 歳で単身アメリカに留学。スタンフォード大学大学院修了後に帰国し、通信教育にて教員免許を取得。6 年半、千葉の公立中学校で教鞭をとった後に、フルブライト奨学生としてコロンビア大学教育大学院博士課程に学ぶ。2016 年、人口 4000 人弱の高知県土佐町に家族で移住。2019 年に町議会選挙に初出馬してから 2 期連続トップ当選。教育を通した町おこしを目指しつつ、執筆・講演活動をしている。著書に「崩壊するアメリカの公教育：日本への告」（岩波書店）、「崩壊する日本の公教育」（集英社新書）など。

編集後記

ようやく 2 号目となりました。お知らせすることが多いのは活動の広がりがあるって嬉しいことですが、それでもまだ一部なのです。みなさん、お知らせお待ちしております。

記念講演で話された渡辺 治さんも言われていました。「平和と暮らしを支える政治」を掲げて、社会に働きかけていくことが求められる。この秋から広げる課題です。

（事務局；阿部 比佐久）